

当年度の活動について記載し、毎年提出する用紙です。

(別紙3 様式第12号)

発出番号のない団体は番号の記入の必要なし。申請日は、決められた期間内の日

令和 年 月 日

(森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会)
公益社団法人京都モデルフォレスト協会
理事長 安藤 孝夫 様

(活動組織名)

(代表者役職)

(氏名)

印

令和〇年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る採択申請書

森林・山村多面的機能発揮対策実施要領（平成25年5月16日25林整森第74号林野庁長官通知）別紙3の第5の4（1）に基づき、下記のとおり森林・山村多面的機能発揮対策交付金の採択を申請する。

記

1 活動組織名

〇〇の森保全の会

2. 協定の対象となる森林の位置

京都府〇〇市△△×-×、△△×-×、△△×-×

※対象森林の地番を記載する。なお、対象森林は「山村多面的機能発揮対策実施要領」第2の1の森林を対象とするが、当該森林が当該事業実施に対して規制がない森林であることを確認する。地番まで記載する。「〇〇他」とせず、全ての箇所を記載する

3. 担当者名・電話番号（連絡がとれる担当者及び電話番号を記載）

森 林太郎（会計）

090-〇〇〇〇-〇〇〇〇（携帯電話）

4. 森林・山村多面的機能発揮対策交付金

取組メニュー	交付単価等	森林面積等	交付金額	都道府県の支援額	市町村の支援額	計
活動推進費	112,500 円	初年度のみ	112,500 円	円	円	円
地域環境保全タイプ（里山林保全）	120,000 円/ha 115,000 円/ha 110,000 円/ha	3 ha ha ha	360,000 円	1 年目、2 年目、3 年目で単価が異なるので注意		
地域環境保全タイプ（侵入竹除去・竹林整備）	285,000 円/ha 265,000 円/ha 245,000 円/ha	0.5 ha ha ha	142,500 円	円	円	円
森林資源利用タイプ	120,000 円/ha 115,000 円/ha 110,000 円/ha	ha ha ha	円	円	円	円
森林機能強化タイプ	800 円/m	170 m	136,000 円	円	円	円
関係人口創出・維持タイプ	50,000 円/年					
小計			751,000 円	円	円	円
資機材・施設の整備等	1/2 以内	259,200 円	129,000 円	資機材は千円未満切捨てで記入		
資機材・施設の整備等（林内作業車、薪割り機、薪ストーブ又は炭焼き小屋等）	1/3 以内	円	円	円	円	円
計			円	円	円	円
間伐等（除伐、枝打ちを含む。）の実施面積		3 ha	天然林や竹林についても記入すること。			
当該年度に長期にわたり手入れをしていなかったと考えられる里山林を整備する面積		2 ha	施業履歴等を確認する必要はなく、後輩している等の場所であれば面積を記入すること。このとき面積はおおよそで記載し特段測量等を行う必要はない。			

（注1）面積は0.1ha、延長はm単位で記入。以下は切り捨て

（注2）当該年度に長期にわたり手入れをしなかったと考えられる里山林を整備する面積は、活動期間内の前年度までに該当する里山林の整備を実施した場合は、その森林の面積を除外し、当該年度に新たに里山林の整備を実施する面積を記載すること。

（注3）都道府県の支援額、市町村の支援額及び計については、申請時に都道府県や市町村から予定額を聞いている場合等に記載すること。

（注4）地域環境保全タイプ及び森林資源利用タイプの交付単価は、活動計画の経過年度によって異なるので留意すること。

資機材・施設の整備の森林面積等の欄については、購入予定額を記載

5. 事業費（活動推進費＋各タイプ計＋資機材・施設の整備（購入額））

$$112,500 + 638,500 + 259,200 = 1,010,200$$

6. 月別スケジュール

取組内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
1. 活動推進費										
対象森林の調査、打合せ		←→								
2. 実践活動										
A-1 地域環境保全タイプ (里山林保全)										
間伐、雑草木の刈払、搬出				←→						
A-2 地域環境保全タイプ (侵入竹除去・竹林整備)										
対象侵入竹の除去・処理						←→				
B 森林資源利用タイプ										
C 森林機能強化タイプ										
D 関係人口創出・維持タイプ										
3. 資機材・施設の整備等										
チェーンソー購入			←→							

資機材以外の購入予定 (活動費より購入する消耗品)	ヘルメット、防護服、鉋、鎌等
活動終了予定日	12月末
現地確認希望時期	1月中旬

(注) 年度内の活動が終了したら、終了後1カ月以内または地域協議会の定める最終締め切り日のいずれか早い日までに所定の様式により実施状況報告を行うこと。また、活動終了時に、現地において活動状況の確認を行います。

(注) 積雪の予測される地域においては、降雪前に現地確認を終えるよう予定をたてること

7. 安全講習等の名称及び内容

講習の名称	講習の内容	実施月
安全講習	安全装備、作業についての講習	7月
		月

8. 関係人口創出・維持タイプの相手先及び活動内容

【地域外関係者の相手先名】
【活動内容】

注) 地域外関係者との現地確認や活動内容の調整を必ず行うこと。

< 施行注意 >

作業安全のための規範（個別規範：林業）事業者向けチェックシート、環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート、活動計画書、協定及び活動組織の運営に関する規約等を添付するものとする。

・資機材・施設の整備を申請する場合は、別途、「資機材等購入理由書」の提出が必要です

記載事項及び添付資料が既に提出している資料の内容と重複する場合には、その重複する部分については省略できることとし、省略するにあたっては、提出済の資料の名称その他資料の特定に必要な情報を記載の上、当該資料と同じ旨を記載することとする。

